

製品名: FKBPL ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab11013

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	FKBPL
別名	FKBPL; DIR1; NG7; FK506-binding protein-like; WAF-1/CIP1 stabilizing protein 39; WISp39
遺伝子 ID	63943.0
SwissProt ID	Q9UIM3
免疫原	抗血清はヒト FKBPL 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

背景

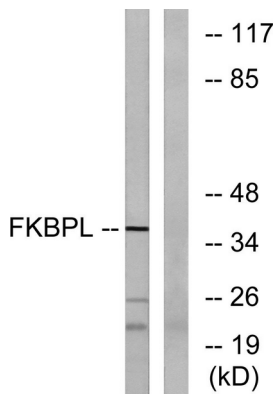
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、免疫調節やタンパク質の折り畳みと輸送に関わる基本的な細胞プロセスに関与するイムノフィリンタンパク質ファミリーと類似性を示す。コードされるタンパク質は、誘導性放射線抵抗性において潜在的な役割を果

たすと考えられている。また、細胞周期の制御にも何らかの関与があると考えられる。[RefSeq 提供、2008年7月],機能: X線への反応に関与している可能性がある。Hsp90 および p21 に結合して p21 タンパク質の安定性を調節する。 ,PTM: DNA 損傷時にリン酸化される。おそらく ATM または ATR による。 ,類似性: 3つの TPR リピートを含む。 ,サブユニット: CDKN1A/p21 および HSP90AB1/Hsp90 と三元複合体を形成する。 ,組織特異性: 普遍的に発現し、精巣で高濃度に発現する。 ,

研究分野

-

画像データ



FKBPL 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。